

オール大阪で難局を乗り越えましょう!!



発行所
〒542-0065
大阪市中央区中寺1-1-54
大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会
従事者部会
発行人 二上 英樹



従事者部会長
ワークショッパリ
二上 英樹

2月中旬から世界中で感染が拡大している新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方々に対し、心からご冥福をお祈り申しあげるとともに、今もなお入院・治療されている方々の一日も早い回復を心よりお祈り申しあげます。

この新型コロナウイルスの問題により、様々な対策を講じた中で施設運営、利用者支援と施設従事者の皆様のご苦労は計り知れないと思います。このような状況になり、普段の変わらない生活、変わりない環境、普段通り仕事に従事できること、これこそが最も有難いことであると日々改めて感じています。話は変わりますが、従事者部

従事者部会の
ホームページ
公開中!!



会は昭和27年に発足し、脈々とその歴史が継承され、令和4年度に発足70周年を迎えることになりました。全国に類を見ない大阪唯一の組織である従事者部会。今、私を含めた従事者部会常任委員のメンバーで、70周年記念誌の作成に取り組んでいます。この取り組みを通じて、大阪の福祉の歴史、また先輩方の並々ならぬ努力の歴史を感じています。今を大切に今に有難さを感じるとともに、これからの新たな大阪の福祉を作っていくねば、とさえ感じています。記念誌は令和4年度に完成予定です、ご期待ください!

従事者部会は施設で働く従業員皆様の部会です。新型コロナウイルス感染拡大により、福祉業界も大きな難局を迎えています。今こそ従事者の皆で一丸となりこの難局を乗り越え、新たな歴史を築きましょう。



戦場カメラマン 渡部 陽一 氏

戦場カメラマン 渡部 陽一氏の 「世界からのメッセージ〜平和と命の大切さ〜」

(民間共済会との共催事業)

開催日…令和元年12月5日(木)

令和元年12月5日、大阪民間社会福祉施設共済会との共催による講演会に参加しました。今回は戦場カメラマン 渡部陽一氏を講師に迎えて開催されました。渡部氏は戦場で過酷な生活を強いられている子どもたちに寄り添い、話されていました。その現状を発信することに力を入れています。特に教育は重要であり、倒れた中村哲医師についても言及し、

世界情勢は刻々と悪化していることを私たちも知る必要があると感じました。渡部氏の写真の中で、戦場の子どもたちの何気ない日常風景が印象に残っています。戦場でも私たちと何ら相違なく、家族や友達と助け合って生きていることを実感しました。渡部氏の活動は、私たちに世界の出来事について考えるきっかけを与えてくれました。今回を契機に視野を広げ、少しでも世界の出来事に関心を寄せたいと思いました。

(白雲寮 出羽)

集団指導者養成教室

第1回

『理解者と協力者を生み出す コミュニケーションスキル』

開催日…令和元年7月19日(金)



対話の重要性を語る

ビジネス心理
コンサルティン
グ株式会社代表
取締役の林恭弘
氏をお迎えし、
コミュニケーション
スキルにつ
いて学びました。
福祉の世界で
は接する相手の
年齢は種別によ
って異なります
が、どの種別に

においてもコミュニケーションは重要なこと
だと普段から思っています。この研修を受
けながら、自分自身が普段コミュニケーション
をどのようにつけているのか考えさせ
られました。こちら側からストロークをこ
まめに送ることは大切ですが、同じくらい
相手の話をどの様に傾聴するかの大切さを
学びました。常に「自分本位」ではなく「相手
本位」で考えていかなければなりません。簡
単なようで難しいことだと思います。
コミュニケーションは「仕事だからする」
のではなく、日常的にすることなのでこの
研修に参加させていただき改めて考えるこ
とができました。
ありがとうございました。

(東光学園 佐藤)

第2回

『社会福祉施設として 必要な危機管理とは何か』

開催日…令和元年11月18日(月)



発災時の対応についてグループワーク

今回「社会福祉施設として必要な危機管理とは何か」と
いうテーマで、一般社団法人危機管理教育研究所 主席
研究員の鍵屋一氏のご経験と危機管理とは何かを教えて
頂きました。

自然災害の中で最も危機管理が必要な「地震」について、
出身地である秋田弁を交えてもらいながらお話しして頂き
ました。お話の中で「自分は大丈夫だと思っていませ
んか」と言われた時、正直その通りと思いました。それは「自
分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価して
しまう人間の特性」と教えてもらいました。研修中「大地
震発生直後、あなたは利用者と福祉施設にいました。何
をしますか?」という問いに、わたしは「大声を出して子
どもたちを助ける」と思いましたが、「自分は助かるのか、
ケガをしていたら、自分1人では何も出来ない」ことも
教えてもらいました。

鍵屋氏から「福祉施設は平時から市町村・地域住民と
一緒になって災害計画
や訓練の実施に取り組
まなければならぬ。」
ことと、「幸せになる3
つのレシピ」を学ぶこ
とができ、①人との交流
②感謝し、親切にする
③今、ここで生きる大
切さを再認識し、命の
大切さを考えさせられ
る研修に参加出来たこ
とを感謝いたします。

(南河学園 坪本)

第3回

『心と体を整えるマインドフルネス 〜今日から職場で実践できる ストレッチス〜』

開催日…令和2年2月17日(月)



マインドフルネスを体感

マインドフルネスに取り組むと、今この瞬間に
注意を向けて呼吸を整えるため、感情に振り回
されず、心穏やかに集中できる効果があることを
学びました。我々福祉に携わる職員は、心をかき
乱された利用者の生活・人生に寄り添う場面も多
くあるため、感情に振り回されずに行動することが
大切です。落ち着く方法を知っておくことで、
日々の生活の中で各々が取り組みやすい方法を選
択し、自分自身に取り入れえたり、相手に伝えたり
して、心穏やかに過ごせ、冷静な判断が出来るの
ではないかと思っています。

私自身、講義中に体験した「集中瞑想」では、気
がつけば仕事のことを思い浮かべてしまい、呼吸
に集中することができませんで
した。自分の今
の状態を知れた
ことは自分にと
って有意義なこ
とであり、今後
の動き方を見つ
める良い機会に
なりました。
貴重な研修を
ありがとうございました。
ありがとうございました。

(ボ・ドーム大
念仏 村尾)

マナー研修

福祉に求められる品格と人間力

第1回 令和元年6月17日「本当のマナーを知っていますか？」
第2回 令和元年11月21日「コミュニケーションは人間力」



講師の島津ゆう子氏

で相手に伝わる印象が大きく変わること、社会人として人としても大事にすべき要素であると感じたので、私自身もそれを身につけていきたいと思いました。

島津流マナーは「相手が嫌がることをしない」「相手に不快な思いをさせない」「相手に恥をかかせない」の3大柱だそうです。実際にあった

有名な話で、英国に他国の王様が訪れた際、フィンガーボールの水を飲み水だと思い、飲まれたそうです。それを見た英国のヴィクトリア女王は、マナーを知り尽くした上で、同じようにフィンガーボールの水を飲まれたとのこと。人前で「相手に恥をかかせない」ことが、究極の品格であると感じました。

個性分析で、自分と他人の違いを認めることにより、コミュニケーションがスムーズになりました。自分の感覚では、あり得ないことをする方がいらつしやいますが、逆の立場になると、相手からは私があり得ないことをしている可能性

以前より島津ゆう子先生のごことは存じ上げておりましたが、私自身が受講するのは初めてで、とても楽しみにしていました。終始、結婚披露宴で聞くような素敵な声で、受講しているだけでも清々しい気持ちになり、自然と背筋も伸びました。

「当たり前前」のことを当たり前にすること」がマナーに繋がると伺い、忘れかけていたものを少し取り戻しました。細かい事でもこだわって、意味を分かった上で実行すること、自分の習慣となり、人としての品格になっていくのだと改めて感じました。日々過ごす中で、席を立つ時には椅子をきちんと机に入れることや、表情や服装、持ち物など



学んだことを実践する受講者

従事者部会リーダー養成研修

開催日：令和元年10月29日(火)～30日(水)



グループに分かれて取り組む

講習を学び、コミュニケーションを行い、実践しました。2日目の大阪府警察本部からは自主防犯の大切さ、とっさのときの防犯方法を教えていただきました。全体を通して防災・防犯がテーマであり、自分の身を守ることはもちろん1人の福祉従事者として何ができるかを考える機会となりました。

また災害が起こった場合を想定して、夕食は限られた食料と器具で作りました。メニュー決めから火起こしなどの役割分担を相談し、協力して調理をすることでグループの仲が深まりました。

普段、他の施設種別の方々と話す機会がないので初めて知る種別ならではの話もあり、今回の研修で視野を広げることができたと思います。

(事務局)



救命講習を受講



刺叉を使った防御方法を学ぶ

従事者部会

常任委員宿泊研修会

開催日…令和2年1月28日(火)～29日(水)

今回の宿泊研修は、岡山「しい福祉へ」と目標を挙げ、県の社会福祉法人「新天地 職員に「パン焼き」や「カ育児院」の施設見学を行なフェラテ」の研修を行っていました。貴施設は児童養育施設を運営しており、職員は「生活を楽しめる」「児童福祉の父」と言われる石井十次と同じ岡山教会のメンバーであった堀ミチに預けられた池田愛が、2人の意志を次いで結実させた施設です。

副院長の龍尾先生から、平成31年度重点課題について、解説をしていただきました。「正しい福祉から楽

施設見学だけでなく、参加された委員の先生方との交流の場をもつことができ、とても有意義な研修をさせていただきました。

(翼 峯本)

施設見学だけでなく、参加された委員の先生方との交流の場をもつことができ、とても有意義な研修をさせていただきました。



従事者部会

「発足70周年記念誌」へのご協力のお願い

本部会は昭和27年10月の発足以来、現在に至るまで

大阪の福祉を支えてこられた先輩方の想いを脈々とつ

なご、令和4(2022)年ごい

度、発足70周年を迎えることになりました。今までの従事者部会のあゆみを後

世に残すために、70周年記念誌としてまとめるべく、

準備を進めています。そこで、もし貴施設に保

管されている過去の写真や

資料、参考となる情報がごさいましたらご提供いただきいものでも構いません。数十年前日々ご多忙とは存じますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ソフトボール大会で銀

令和元年5月23日・24日に第51回施設職員ソフトボール大会が2日に分けて、セレッソスポーツパーク舞洲で開催。両日とも快晴の暑い中、予選リーグ、決勝トーナメント方式で試合を行いました。従事者部会は24日エントリーしました。

昨年、10年目にしてやっと3位銅メダルを獲得しましたが、今年はなんと準優勝。

予選リーグも打線爆発、2連勝でトップ通過し決勝進出を決めました。決勝トーナメントでも打撃の勢いが止まらず勝利。決勝戦は残念ながら敗れましたが、銀メダル獲得は従事者部会史上初の快挙となりました。

ご参加頂いた先生方、銀メダル獲得おめでとうございます。銅銀と獲得し、もう我々の次なる目標は金メダルしかなくなってしまう。いつになるかわかりませんが怪我無く頑張ってくださいませう。



試合の様子

軟式野球大会で銅

令和元年9月19日、セレッソスポーツパーク舞洲にて第41回施設職員軟式野球大会が晴天の中開催されました。参加チームは21チーム4ブロックに分かれ予選が行われました。従事者部会チームは、好投、好守、好打で予選2試合とも接戦を制して2連勝で決勝トーナメント進出を果たしました。

決勝トーナメントでは強敵相手に食らいつきましたが大敗を喫しました。しかし、従事者部会史上初の野球大会3位が決定。ソフトボール大会に続きメダル獲得となりました。令和なり未だ予選敗退がございません。

我々も毎年一つずつ年齢を重ね、体力的な衰えはありながら、チーム状態は上向いてまいりました。このままでは打倒従事者部会に燃えるチームが増えてくるでしょう。冗談はさておき、次回も怪我無く楽しみましよう。

ご参加下さった皆様、本当にお疲れ様でした。

(みどり幼児園 橘田)



従事者部会チーム奮闘

副部会長紹介

みどり幼稚園 橘田 浩史



みどり幼稚園（幼保連
携型認定こども園）の橘
田浩史と申します。現在、
従事者部会の副部会長と
して参加させていただい
ております。

毎月の常任委員会で先生方と各部会の課題や問
題点について意見を交わす中で、人材不足や育成
そして災害対策についての事が多く上がっていま
す。そういった全部会に共通した研修会や講演等
を企画、開催しています。興味を持たれた方は、
是非ご参加ください。

従事者部会は、もうすぐ七〇周年を迎えます。
先輩方が引き継いでこられた思いを、今おられる
先生方と共に盛り上げていければと思っております。

白雲寮 谷 茂子



大阪自強館 白雲寮の
谷茂子です。平成26年度
に従事者部会常任委員に
就任させていただき、今
年度で6年目となります。
委員会では主に研修の企
画を行い、一人でも多く

の方に参加していただけるよう努めています。ま
た、意見交換会では各施設の取り組みや課題につ
いて話し合い、各種別の動向を情報共有すること
ができています。私自身、利用者にかかわる職員
として自己研鑽に努め、支援の向上につながって
います。現在の「福祉」に何が求められているのか
人材確保や福祉サービスの質を向上させるには何
が必要なのかを考える機会にもなっています。今
後も従事者部会常任委員が丸となり、活動を盛
り上げていきます。これからもよろしく願いま
す。

南河学園 吉原 俊夫



昨年度より従事者部会
の副部会長をさせていただ
いております。児童養
護施設南河学園の吉原俊
夫と申します。従事者部
会では現在、会の発足70
年を機に、記念誌の発行
を目指し、内容の検討、資料集めと準備を進めて
おります。過去の活動を振り返る中で、従事者部
会を作り、活動を支えてこられた諸先輩の先生方
のご苦勞に、改めて頭の下がる想いです。

時代も変わり、職員も利用者、入所者も法律も
変化しましたが、従事者部会の目指すところは変
わっていないように思います。先輩の先生方の想
いを受け継ぎ、令和の従事者部会を常任委員の力
を合わせて盛り上げていきたいと思っています。

新常任委員紹介

ルフレ八尾 桑田 将格



今年度より従事者部
会に参加させていただく
ことになりました。母子
生活支援施設ルフレ八尾
の桑田です。

ルフレ八尾では、少年指
導員として勤務しており、
日々子どもたちと関わりながら、子どもたちの社
会性や自立心を育てよう、また母子支援
員とも協力し、母と子の親子関係へのアプローチを
職員全員でつくり組んでいます。

2年前に府市の母子生活支援施設合同で「魁
プロジェクトチーム」を発足しました。施設の振興と次
世代育成を図るため、施設が抱える課題について調
査・研究・検討を実施すること、また、施設における
支援の内容や施設経営等について提言することをも
目的に取り組んでいます。

従事者部会を通して、様々な職種の方と交流さ
せていただき、学びを深めていきたいと思っております。
どうぞよろしくお願いいたします。

職場奮闘記

秀幸福祉会 庄栄エルダーセンター
CSW 神野 享士さん

支援する仕組みづくり
に動いています。今回は、
その一環で行っている少
年院での就労支援講座の
活動について紹介します。

当施設は、茨木地区更
生保護協力雇用主会に加
盟しており、平成26年7
月より同市にある少年院
にて、出院後の就労の魅
力について語り掛け、就
労意欲を湧き立たせるた
め、「魅力発見講座」と
題した出前講座を行って
います。

なぜCSWが？と感じ
る方もおられるかも知れ
ません。ですが、彼らも
出院後は地域に戻り、地
域住民になります。彼ら
の更生保護については一
定期間、保護司の方々と
連携して自立に向けた支
援をしています。定職
に就かずフラフラとして
いるとまた罪を犯し、逆

戻りしてしまいます。地
域から疎外されがちな彼
らに保護司と共に寄り添
うこともCSWとしての
役割と考え、積極的に取
り組んでいます。

講義では事前アンケ
ートを行います。仕事に
就けるかどうか、幸せな
家庭が築けるか、職場の
仲間と上手に付き合える
かなど出院後の不安が多
く寄せられています。自
己肯定感が低い彼らが将
来像を描けられるように
様々な可能性と個々の良
いところ探しを行い、励
まし、寄り添って、自立
を促すことも私たち福祉
に携わる者の使命と考え
ています。

確かに罪を犯した者に
更生を促すのは、エネル
ギーが必要ではあります
が、誰かが彼らに手を差
し延べなければなりません。
このことから一人でも
多くの若者が更生して社
会参加できるように励ん
でいきたいと思っています。

事務局紹介



居関 則子

小林 知加

さまざまな種別の先生
方と、福祉の発展に携わ
ることが出来る当部会の
事務局を担当させていた
だき、大変うれしく思い
ます。先生方が築きあげ
られた大阪ならではの部
会として、今年度もより
良い部会運営に努めてい
きますので、よろしくお
願いいたします。

常任委員名簿

(令和2年7月現在)

役職等	施設種別	施設名	氏名
部会長	セルフ	ワークショップかりん	二上 英樹
副部会長	保育	みどり幼児園(堺)	橋田 浩史
	成人	白雲寮	谷 茂子
	児童	南河学園	吉原 俊夫
常任委員	児童	博愛社	西川 真砂子
		希望の杜	井路端 孝明
		生駒学園	小田 秀治
		子供の家	森 一馬
		東光学園	友井 秀一
		信太学園	稲富 真由美
		あおぞら	渡邊 葉一
		翼	峯本 英輝
		若江学院	土本 貴之
	成人	みなと寮	宮武 信行
		フローラ	石田 大介
	セルフ	交野自立センター	日野 信行
		おおはま障害者作業所	脇田 美樹
		こんふおーと	辻 正晃
	保育	たんぽぽ中条学園(北摂)	三角 寛子
		船橋保育園	田中 将也
		寺内さくらこども園(北大阪)	富田 祐介
		三宝こども園(堺)	山唄 聖
		五月橋保育所(河内)	上田 規雄
		中新開さつきこども園(河内)	大東 主範
		みなまつ保育園	西上 和子
		認定こども園 信太保育園	三浦 祐助
		アンパス東大阪	吉野 真樹
	老人	四天王寺悲田院養護老人ホーム	椿原 篤史
		庄栄エルダーセンター	神野 享士
	母子	ルフレ八尾	栗田 将格

(順不同・敬称略)

従事者部会とは

“大阪府社会福祉施設
全従事者の会”

(会員施設は令和2年4月1日現在)

◎保育部会 710施設

民間保育園、認定こども園を対象とした組織。

◎老人施設部会 471施設

特養、養護、軽費、ケアハウスなどを対象とした組織。

◎成人施設部会 98施設

救護、更生、内部障害者更生、婦人保護、知的・身体障害者更生施設などを対象とした組織。

◎児童施設部会 78施設

児童養護施設、乳児院、児童心理治療施設などを対象とした組織。

◎セルフ部会 125施設

授産施設を対象とした組織。

SELPとは、Sサポート(支援)、Eエンプロイメント(就労)、Lリビング(社会生活)、Pパーティシペーション(社会参加)の略。

◎母子施設部会 7施設

母子生活支援施設を対象とした組織。

◎医療施設部会 22施設

無料低額診療事業施設を対象とした組織。

迎えました。施設従事者の方々も、未知のウイルスへの対策に日々努められていることと思います。

そんな中ですが、今年度も「かがり火第34号」を発行することができ、ご協力いただきました皆さまには心より感謝いたします。今年度も引き続き、種別や職種を問わない共通する幅広いテーマでの研修を企画してまいりますので、ぜひご参加のほどよろしくお願いいたし



今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、行事や研修会の中止・延期が相次ぎ、対応に追われつつ今年度を迎えました。施設従事者の方々も、未知のウイルスへの対策に日々努められていることと思います。

そんな中ですが、今年度も「かがり火第34号」を発行することができ、ご協力いただきました皆さまには心より感謝いたします。今年度も引き続き、種別や職種を問わない共通する幅広いテーマでの研修を企画してまいりますので、ぜひご参加のほどよろしくお願いいたし

「かがり火」キャラクター
『照子ちゃん』

～令和2年度 従事者部会

研修会予定(7月1日以降)～

● 第1回集団指導者養成教室

● リーダー養成一泊研修会

(会場：大阪市立信太山青少年野外活動センター)

● マナー研修

● 民間共済会との共催事業

● 従事者部会人権研修会

● 第2回集団指導者養成教室

現時点での予定ですので変更することがございます。

◆ 研修会についてのご意見・

ご感想などをお寄せください ◆

〒542-0065

大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
大阪府社会福祉協議会 施設福祉部 従事者部会事務局

TEL : 06-6762-9001 / FAX : 06-6768-2426